

特戰十位置抗着、開口部

、急装及偽陣地、陣地

、付て格好を新造、果ては

の構有施設特、給水、給食

、訓練、重点、屯、屯

、影無、戦去、徹夜、舟艇、訓練

、急造陣地、於て肉薄、攻撃

、防門、入、抗、道、障、口、部、自衛、戦、斗

、敵、馬、乘、以、撃、つ、た、自、衛、戦、斗

、付て、格好、を、新、造、す

、敵、の、陣、地

、付て、格好、を、新、造、す、徹、夜、舟、艇、訓練、給、水、給、食

、訓練、重点、屯、屯、影、無、戦、去、徹、夜、舟、艇、訓練

、急、造、陣、地

、付て、格好、を、新、造、す、徹、夜、舟、艇、訓練、給、水、給、食

、訓練、重点、屯、屯、影、無、戦、去、徹、夜、舟、艇、訓練

、急、造、陣、地

、防、門、入、抗、道、障、口、部、自、衛、戦、斗

、敵、馬、乘、以、撃、つ、た、自、衛、戦、斗

、付て、格好、を、新、造、す

、敵、の、陣、地

、影、無、戦、去、徹、夜、舟、艇、訓練

、急、造、陣、地、於、て、肉、薄、攻、撃

、防、門、入、抗、道、障、口、部、自、衛、戦、斗

、敵、馬、乘、以、撃、つ、た、自、衛、戦、斗

、付て、格好、を、新、造、す

、敵、の、陣、地

、影、無、戦、去、徹、夜、舟、艇、訓練、給、水、給、食



一入隊ノ極力敵ノ遺存シテ敵ノ襲上途ヲ阻礙スルコトヲ如ク作戦
準備ニ備ハシテ敵ノ侵入ヲ防グ候ヘドモ
二各隊ノ監視警戒ヲ嚴シクシテ依然築城訓練ヲ續行シ戦士準備
ノ完璧ヲ期スルコト
三對戦車道路ノ阻絶破壞ハ本隊中ニ完成スルコト
持新ノ交付スルコト内政資料ノ用法ヲ訓練徹底ニ置ク事スル
四介ノ師ハ山ニ在リ

入隊員 志帥 中一佐

下等志 口筆書記

記事員 謙一 一校

海軍

一海軍 阻絶破壞

地西朝前著河阻絶破壞ハ志願ハ隊本部砲臺隊ハ火網ノ建築ハシ
マヤ点檢トシ又其阻絶ノ利用ハ地身及隊中ノ實施ヲ準備ス整ヘシ

昭和十一年十一月五日

海軍

田中少隊 田中北ノ機備海軍ニ在リ

神奈川及隊務台機備海軍ニ在リ

海軍軍備隊ノ機備増強セシ

大船海上ノ施設ハ内政用時宜ニ必ス

海軍軍備隊ノ機備増強セシ

之ノ敵馬車及野文記門前ノ台機備

師司令部第五號

獨逸海軍隊司令部

情報員

敵情 情報記録ノ如シ

地西隊ノ敵ニ對テ河上陸ニ在リル場合ニ豫想シテ其ノ東風

平海軍ノ松進準備ス

二入隊ノ東風平東北方地区ニ向シ松進ヲ準備ス

松進ニ當リ特設第三中隊ニ持余ヲ指揮シ復級ヒシラレトモ



海軍

大隊の総進計画(案)別紙如し

三本部各隊の別紙(東風平)東北地方地を向う総進計画(案)其基キ
総進準備(案)

本二入百博の喜以降大、集結地に於て諸備を準備し、
此二ト其結果、基キ、総進計画、明二九日中一提出スル
且各隊の嚴重計画、或ハ特許地、掩護を完全とする、後有戦時
文書等、總進計画

大隊長 一 志師 中 佐

下は進法中進歩の要旨に基き、後命令に即応する、
此等、直轄の同一級北地は、

石橋

昭和十五年三月八日

方針

東風平 第一隊 第二隊 第三隊

練第六〇三部隊

攻時、利用シ、急攻、機動シ、東風平、東北地方地を、
分散避敵、態勢、トリ、爾後、戦時、準備ス

西廣

一軍隊以分

本朝、北、野

野、新任務、受領、下、同、所、各、主、要、部、(三、行)、由、川、鶴、尾、大、隊、配、属、スル

二、三月九日中、機動準備、概成、敵、隊、進、退、道、了、了

之、為、三、日、夜、各、隊、毎、日、切、集、結、地、復、察、標、示

三、總、隊、裝、備

最少限、監視要員(各隊下士官又、要員)に、長、トシ、防、衛、者、以、之、充、ツ、テ
緊急時、各、隊、其、他、以、テ、防、衛、ス

編成基準(自動車備付)

本 部

指揮班 品二
機分隊 机

行 本 品六

指揮班 机四(外兼備)

二小隊 品二

指揮班 机一

修理分隊 品五
機分隊 机四

編成表(大表)

待了

以裝備基準

訂家裝備

彈藥

一門 徹甲彈八箱(四〇卷)
榴彈 一箱(五〇卷)

內衣資材

糧 秣

携行口糧 甲 一日分 機師一個食量二日糧秣材料二箱
乙 二日分 機師食
丙 三日分 機師食

衛生材料

携行衛生材料 二箱(內詳携行醫藥箱內容) 携行衛生材料 各分隊備一

携行衛生材料 備用包 一(半水素炭)

燃料(ガソリン)

被服

毛布 各人一枚
各隊各若干(兼備被服)



陣營具 八維製天幕全備
 六工器具 廉潔修營具六可多持行
 個人裝帶 完全軍裝

夏衣行着甲 防暑不地不足於
 背負袋 廉潔修營具六可多持行

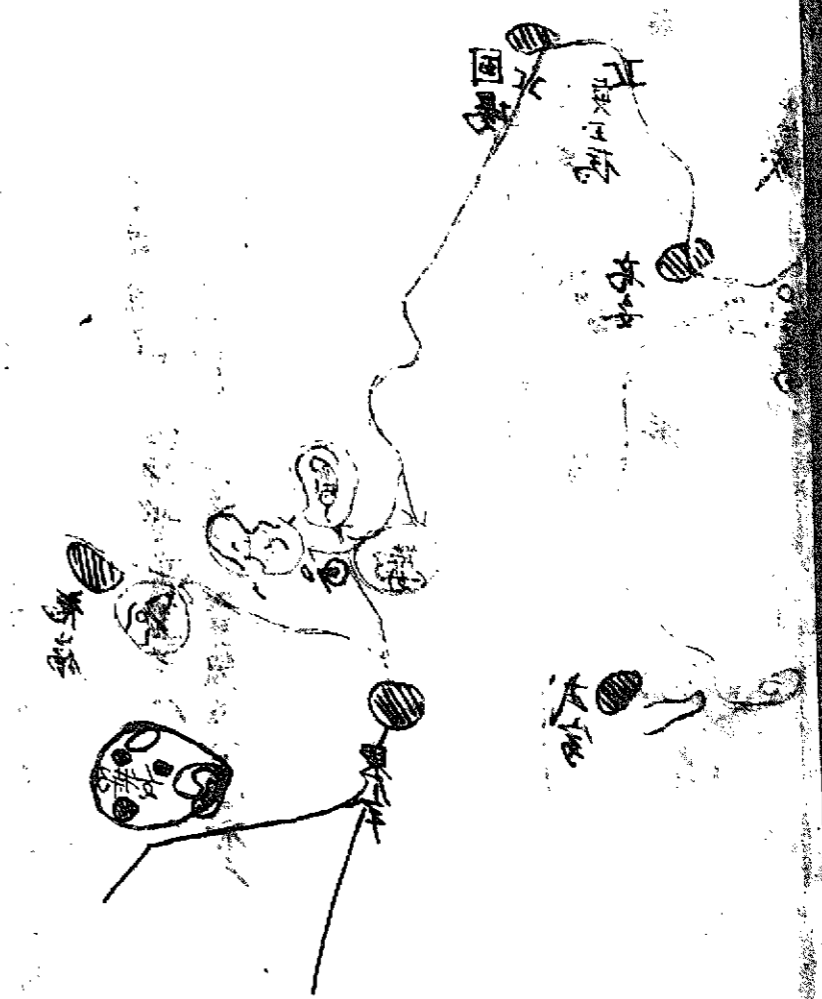
衛生對心裝帶 完全 (防毒藥天幕上)
 六工器具

四進路並集結地要圖如

日受後營 時刻追擊

行進間坐標在後機動迅速

五軍製車六至履七警急形制中
 利所與他軍事安規二千前四所送
 敵視察打掩蔽能執定丁大



軍用命令

參謀總長 軍司令官 聖旨傳達

大塚 聖旨 奉戴 戦力 且 根 根 充 實 通 達 長 入 軍 揮

敵 戦 車 擊 破 准 備

各 隊 右 聖 旨 小 符 後 反 共 左 記 事 類 補 備 軍 用

小 符 符 急 速 爆 雷 本 日 中 一 整 備

之 實 他 肉 攻 具 材 点 檢 整 備 其 用 法 訓 練

之 爲 軍 用 物 類 又 セ ン

訓 練 軍 部 全 員 出 席 セ ン

本 部 及 他 部 小 符 協 同 本 夜 由 頭 南 方 森 林 近 處 模 擬 戰 車

之 訓 練

令 旨 本 部 上 官 以 下 五 名 附 役 以 下 五 名 材 料 使 用 戰 車 一 其 他 訓 練

材 料 利 用



爲砲門ハ檢査修補ハ要ム増設ノ敵ハ爆發撃シ吸火ス
。戰車ノ開シ情報ノ收集ニ遺憾ナシトシテ其ノ爲ニ事件ノ報告スルニ
戰車ノ陸情報ヲ戰車ノ復爾ノ故
位置及行動

丁得ハ戰車互協部隊情報光
其他必要ノ事情

ハ本邦ニヨリテ地輿前哨隊ノ材料ノ各隊ニ配屬ノ敵ノ行動ノ
受領ノ陣地等ハ其ハ利用スル
主計ノ地方側ニ對シテ是等野米類等ヲ調辨シ給與ハ其ノ爲メ圖

各隊員ニ補給スルニ用野品ノ受領ハ其ノ可成各隊ニ分付スル
戰力ハ其ノ爲メ圖スル

。陣中給水施設ノ速ニ整備スルニ及林道内ノ衛生施設ノ準備良シ
爲備ニ勉メテ

四余ハ師令山ニ在

大敵ヲシテ
先鋒ハ中一在

下陸志ノ
下陸軍一隊
攻め一
甚障一戰

敵ハ今
敵ハ今

無ニ
無ニ

北地ニ
敵ハ今
敵ハ今

。戰車ノ開シ情報ノ收集ニ遺憾ナシトシテ其ノ爲ニ事件ノ報告スルニ
戰車ノ陸情報ヲ戰車ノ復爾ノ故
位置及行動

。戰車ノ開シ情報ノ收集ニ遺憾ナシトシテ其ノ爲ニ事件ノ報告スルニ
戰車ノ陸情報ヲ戰車ノ復爾ノ故
位置及行動
丁得ハ戰車互協部隊情報光
其他必要ノ事情
ハ本邦ニヨリテ地輿前哨隊ノ材料ノ各隊ニ配屬ノ敵ノ行動ノ
受領ノ陣地等ハ其ハ利用スル
主計ノ地方側ニ對シテ是等野米類等ヲ調辨シ給與ハ其ノ爲メ圖
各隊員ニ補給スルニ用野品ノ受領ハ其ノ可成各隊ニ分付スル
戰力ハ其ノ爲メ圖スル
。陣中給水施設ノ速ニ整備スルニ及林道内ノ衛生施設ノ準備良シ
爲備ニ勉メテ



五

臣等、御命に承りて

大志を以て

「志」に「甲」を

「甲」に「甲」を

「甲」に「甲」を

御命に承りて

獨りて御命に承りて

御命に承りて

兵團被我隊別に合し、兼て言ひ、是ら

中心、

各隊に合し、兼て言ひ、是ら

隊長、一法、師中、伍

下、並、法、

御命に承りて

明治十五年三月、赤木水田

參電第五六三號

南西諸島方面戦況上奏對シ

天一號作戦ハ萬機ハ決スル處、察軍奮勵以テ

目的達成ニ遺算ナカラシメヨ

ト、御言葉ヲ賜フ

右謹ンテ傳達ス

⑥

⑤

④

③

②

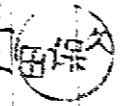
①

日本海軍史 第一卷 第四回 海軍の發展
海軍の發展 第四回 海軍の發展
海軍の發展 第四回 海軍の發展



海軍の發展 第四回

獨逸軍艦隊の命令



海軍の發展

敵艦約六十本、日、月、三、平、安、山、一、系、江、海、前、上、海、の、所、在、す
英、川、上、海、又、上、海、算、大、す
師、團、の、復、部、陣、地、の、正、陣、地、の、急、速、完、成、の、戦、平、先、途、の、根、基、と、シ、テ
其、陣、地、線、及、構、築、担、任、の、計、圖、第、一、の、如、く
北、地、隊、の、計、圖、第、二、の、如、く、東、風、平、右、の、有、雷、砲、の、城、内、に、布、置、す
基、幹、の、復、部、陣、地、の、構、築、の、計、圖、第、三、の、如、く、復、部、陣、地、の、急、速、構、築、の、担、任、
大、隊、の、北、地、隊、の、陣、地、の、構、築、の、担、任、の、計、圖、第、四、の、如、く
七、上、の、其、陣、地、線、及、構、築、担、任、の、計、圖、第、五、の、如、く
復、部、陣、地、の、構、築、の、担、任、の、計、圖、第、六、の、如、く、復、部、陣、地、の、急、速、構、築、の、担、任、
回、各、隊、の、北、地、隊、の、復、部、陣、地、の、構、築、の、担、任、の、計、圖、第、七、の、如、く、復、部、陣、地、の、急、速、構、築、の、担、任、
八、上、の、復、部、陣、地、の、構、築、の、担、任、の、計、圖、第、八、の、如、く、復、部、陣、地、の、急、速、構、築、の、担、任、
父、砲、掩、護、の、陣、地、の、構、築、の、担、任、の、計、圖、第、九、の、如、く、復、部、陣、地、の、急、速、構、築、の、担、任、

海軍

海軍

遂又野馬高き高き仕スル

五各處の本日次第第四番、鳥、偵察、定ムル

偵察、明部、南、別ニシマ

六余、師、合、山、戦、半、指揮、所、在、

大敵、

志師、中、佐

下、連、法、 軍、旨、厚、連、後、口、連、筆、

無、事、さ、り、 直、轄、取、 持、此、地、日、隊、

此、水、命、用、第、七、號、

獨、立、東、野、砲、隊、大、隊、命、令、

保、 解、命、

一、敵、本、朝、力、シ、北、及、中、飛、行、機、上、面、

出、

師、團、先、奏、の、付、近、敵、に、速、撃、再、

北、地、日、隊、本、日、夜、三、年、に、時、時、入、隊、情、況、依、

附十五三、赤天永田

伊、南、東、北、地、に、駐、進、行、出、推、情、

甚、入、各、舞、道、作、小、地、日、隊、に、對、し、地、境、に、在、如、

日、地、日、隊、

要、 歩、兵、第、三、入、隊、

日、地、日、隊、 備、置、中、隊、日、隊、

日、地、日、隊、

大、 歩、兵、第、二、大、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

日、地、日、隊、 獨、立、東、野、砲、隊、中、隊、

備せし

第一隊長は其の隊(中隊)を率ひて本日夜臨時與在師團戰鬥
司令所の指示に従ひ如き準備せし

右轉進に伴ひ中隊の分隊ヲ合兵糧庫地ニ配置し如き準備せし
轉進の自衛隊準備の陣形を別ニ示す

其の準備一團ヲ隊ニ分ちて據るべし
四清隊、東風平一甲部、東側地を轉進し、奇襲の目的を達す、備隊十カ
ハシス

二 余師司令部の指揮下ニシテ

大隊又 一 志願一中隊

下等兵 團員の家來兵等ハ口達、後會合を期すべく、口達等ハ

隊中(口達)を轉進、以て其の九地ニ據る

附十五、三ノ余天未田圖

師司令部の指示

第一隊長に隊命令

附

附十五、三ノ余天未田圖

九地ニ據る、緊迫に伴ひ、口達、四隊命令第一號、口達は生兵、口達は
捕獲の目的を達し、口達は其の陣地前、於て口達は捕獲の目的を達す、口達は

備せし

一 大隊、九地ニ據る、格闘の積極的ニ援助せし

二 本部各隊、口達は其の基干別隊地方住民立退、口達は地方行政機關に
準備を命じ、格闘の積極的ニ援助せし

附

大隊本部 地籍 松川

中隊 伊良波 田頭 上井

大隊又 伊良波

四 余師司令部の指揮下ニシテ

大隊長 一 志願一中隊



下巻法 口述筆記
聖書より 直轄一校

師範命令第六ノ三號

獨り東部師範第三ノ命令 附命令

一軍ノ沖繩本島ニ於テノ命令書トシテ知ル

ニ各隊ニ對シテ命令トシテ知ル。應ルノ前旨トシテ知ル

東ニ後處セラルル

大隊長 一井 師範

一井 師範 直轄一校

師範命令第六ノ三號

獨り東部師範第三ノ命令 附命令

一各隊ノ一部ハ我陣地前ニ急動シテ後

七地ニ突リ現仕テ奮念ニ奮起シテ後

ハル準備ニ遺憾ナク期ス

一各隊ハ依然現仕テ奮起ニ準備ヲ促進強仕シ念ニ奮起

ニ各隊ハ自隊止向敵言テ敵ニ對敵準備ヲ定整ニシテ

他方面ニ進テ準備ニ任ル。特ニ定間諜者ニ注意シテ潛入ス

敵捕獲ニ勉ム

四兩ノ大隊本部ハ第一隊ハ師範ノ甲第五七號ニ拘ラス

在低空ニシテ留機行向ス。敵小上備奈村ニシテ小隊ニ宣召ス

フシテ一得ハ後々準備ニ勉ム

余師司令部指揮所

大隊長 一法師中隊

下等法 下等筆記
野也 直轄一隊

師司令部第六回齋

獨立連射砲第三大隊命令

四月六日

射撃開始時期開始時刻 射撃開始時刻 射撃開始時刻

大隊長 一法師中隊

下等法 下等筆記
野也 直轄一隊

師司令部第六回齋

獨立連射砲第三大隊命令

保

四月六日

敵其第一線ヲ以テ四月五日午後概テ伊舎道一六一高地北側宜野灣村
北側牧港線ニ進出シ一部艦艇中城灣ニ進入セリ

地區隊現任勢ヲ続行スル共二部兵力由小地區隊基幹ヲ隨時第六
十二師團作戰地域内特ニ東正面ニ機動ヲ準備ス

六隊ハ山三四七四隊命第四八號別紙奇襲基ヲ特ニ北正面ヨリ道路ヲ突進
スル敵戰車擊滅組織ヲ完成セリ

第三中隊ハ左如ク陣地ヲ構築シ特ニ道路ヲ突進スル敵戰車ヲ阻撃
スル準備スル

一 豐見城村後場北側高地附近 一門分
射撃方向 高安及早良方向

二 武富西端附近 一門分
射撃方向 高嶺方向

無、置



先ツ野戰陣地ヲ速クニ構築ス

1. 及又附近ニハ夫々川島隊及左い地區隊ヨリ約一隊ノ内攻陣地構築ス
空ニ協調セルハルヲ要ス

四 大隊被列ハ大砲山陣地ヲ速クニ強化完成シ小銃東側海岸ニ上陸道路ヲ
突進スル敵戰車ノ阻止撃滅ヲ準備スベシ

該地附近ニ構築セル砲臺約一隊ノ内攻陣地ノ空ニ協調セルハルヲ要ス
五 第三第四項ニ於ケル速射砲配置並ニ之ニ應ズル障礙物設置(豫備陣地
附近ニ豫備燃料ヲ準備ス)其ノ時期別命令ス

六 大隊長ハ担任場所ニ於ケル陣地配置ノ細部ヲ速クニ報告スベシ
大隊長 一 法師中佐

下達法 要旨各隊長ニ示シタル後命令受領者ヨリ集メ口達筆記
配布ニ分 直轄一般 北地區隊 左い地區隊

師司令部第六號

獨逸隊附隊第三隊命令

一 此隊ハ北地區隊ヲ本夜即襲及即襲東地區ニ轉進シ敵戰車一隊
ヲ牽制セシム

二 大隊自動貨車三輛ヲ山田大隊ニ轉進ニ協力セシムル

三 本部第一中隊及被列ノ自動貨車一各二輛(自動車及即了車)ヲ連
ルニ是れ中心隊ニ轉進ニ協力セシムル

本部榴砲伍長及右自動貨車三輛ヲ指揮スベシ
中心隊轉進完了後中心隊長ヲ指示依テ砲ヲ天明迄一隊
マシ

四 八隊被列ノ廣瀬曹長ヲ指揮シモト成可事多ク兵力ヲ以テ小銃
南側道路ヲ速ク補修セシムル

五 大隊本部ノ成可事多ク兵力ヲ以テ右補修作業ヲ援助スベシ
六 諸隊ハ別紙ノ對戰車戰車ノ關シ注意 築城ノ指示ニ基キ

益々作戦準備ヲ急グベシ



大隊長 一法師 中伍

下草志 命を要する者ヲ其口筆筆也

別紙 印刷紙布

要書 本部 第一隊中隊 校列持之

師令 第六大隊

備前守 第三隊 師令

備前守 第六大隊

一 地区隊ノ宇野田渡馬敷附近ニ步兵一大隊(甲)ヲ連射砲二聯隊砲

二 隊及獨立連射砲二二隊ノ第一線陣地ヲ増設シ重縦深ヲ

強化スルニ共敵ハ旅地区ニ上陸ニ場合ニ後據ラシム

左ハ地区隊別紙(山崎)ニ依テ命第四九號ヲ照シ地域ニ前線大隊陣

地ヲ構築スル等

二 大隊 宇野田附近ニ獨立連射砲二門ノ陣地ヲ増設シ銃係ヲ

シテ大刀組等ヲ強化スルニ

三 大隊 本部 自保宇野田間ノ各地ヲ射撃ヲ得ルルヲ村父坊西

北高地ニ連射砲一門ノ陣地ヲ構築スルニ

四 第一中隊 中街道ノ宇野田間ノ各地ニ連射砲二門ノ陣地ヲ

射撃ヲ得ルルヲ宇野田東側高地附近ニ連射砲一門ノ陣地ヲ

構築スルニ

師令 命 第六百號 依テ村父坊北ノ高地ニ陣地ヲ射撃ヲ得

ルルニ同シ追加ス

五 第三第四兩陣地ハ四月末迄ニ既成ニ五月末迄ニ完成スルニ

之ヲ先ヅテ連射砲陣地ヲ構築シ遂次ニ前線化スルニ

高橋各隊ハ陣地構築ニ一部ノ報告スルニ

之ハ亦 師令ニ依テ

大隊長 一法師 中伍

下草志 口筆筆也

別紙 印刷紙布 左ハ地区

要書 本部 第一隊中隊 校列持之

師令 第六大隊

備前守 第六大隊



皇族令

皇族令

皇族令

Main body of vertical Japanese text, including various official orders and names.

皇族令

皇族令

Large empty table with multiple vertical columns on the right page.

徳川小政

徳川無道

徳川大無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

徳川無道

下達

各職長に傳達後命分給給事口達事記

一六五七

入

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

本 卷 末

本 卷 末 之 後 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘 亦 有 一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一 卷 之 餘

一、...
二、...
三、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

戰令第三號

戰軍警戒命令

警令第三號

敵九軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

敵軍飛行場使用禁止

此は海軍備の進化確主なり

但し新造の艦隊地なり

此艦隊は自前年編成以來の第一の艦隊なり

其の主力艦は、本邦艦隊の主力艦なり

本邦艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第一艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第二艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第三

第四艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第五艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第六艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第七艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第八艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

第九艦隊は、本邦艦隊の主力艦なり

佐東副商地ニ主

海軍工廠

下等艦 題旨は、後命令受領者の事、注意筆記

配布 1 2 改 外 外 Sei

報告先 40

戰擊隊多伯附近集結位置要圖

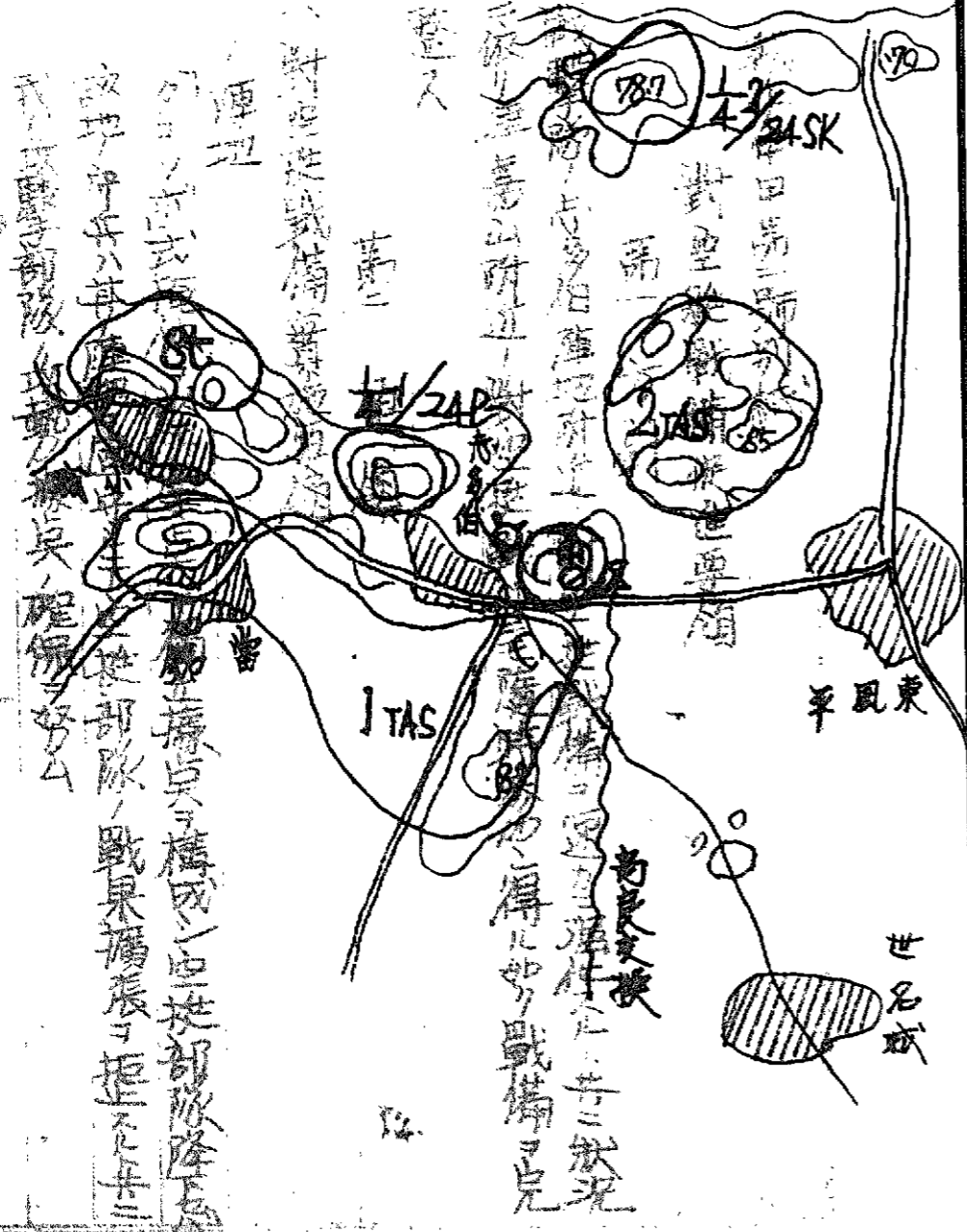
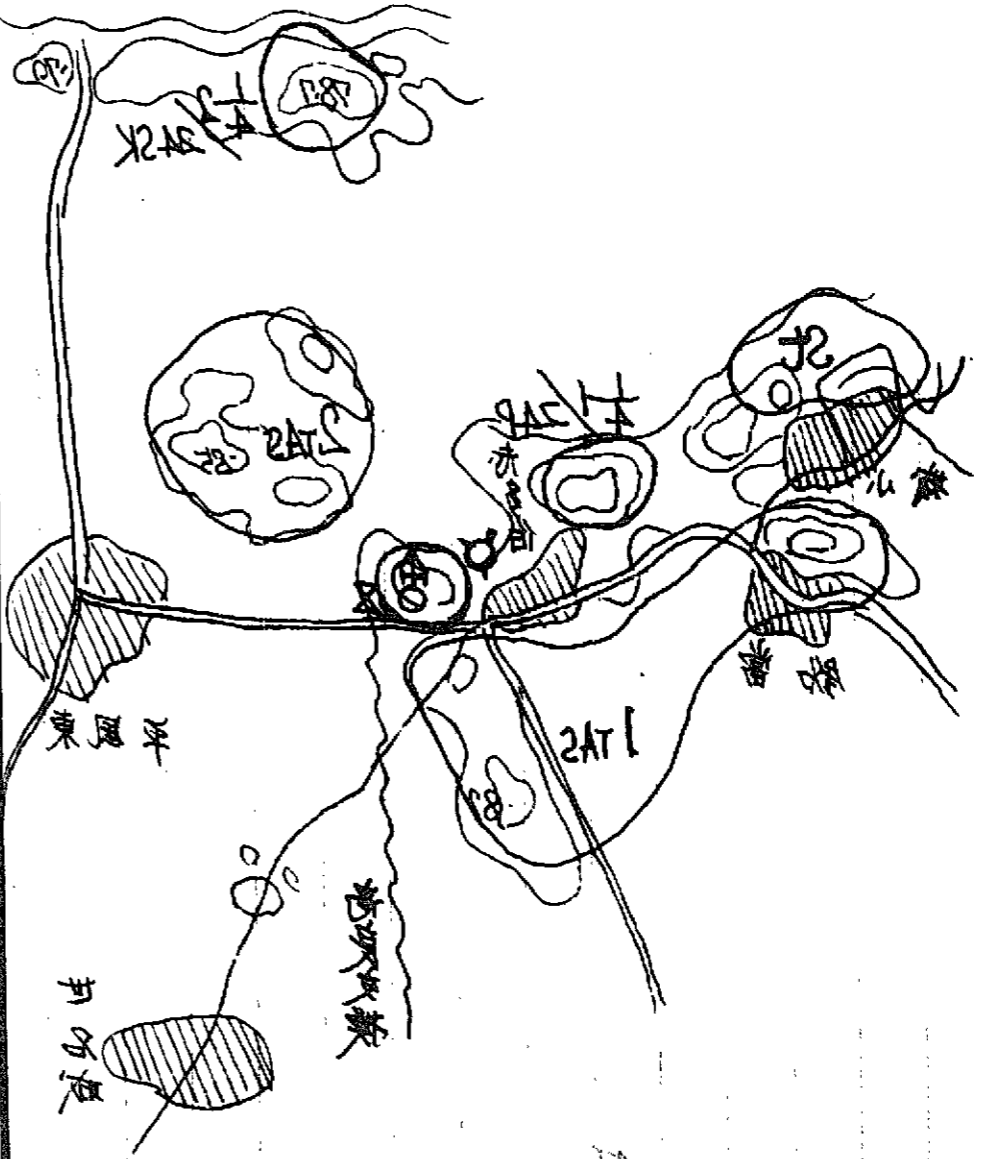


圖 陣地位置表 江津 伯多 家 家 家



戰作命 甲 第三 師別紙

對空機戰備促進要領

第一 方針

戰擊敵ノ志多伯陣地附近ノ對空機戰備ヲ速カニ進メテ
 三飯リ津嘉山附近ノ對空機戰ニ毛墮野末カニ得ルカ
 整ス

第二 要領

一 對空機戰備實施要領

人陣地

カコソホ式掩体ニ以テ要點ニ屬シ據点ニ據ルカニ對テ部隊ヲ
 該陣中兵ヲ其陣地ニ固守シテ空機部隊ノ戰果擴張ヲ進メテ
 我々攻撃部隊ノ攻勢ヲ擴張ス

該陣地周辺に對しては火網並に對空障礙物ヲ設置ス
2. 監視警戒の連絡

各部隊の機銃並に砲撃隊下に在るもの對空監視網ヲ構築シ敵
空機降下ニ對シテ機銃ヲ集中シ攻撃態勢ヲとり得ル如ク準備スル
ヲ要ス

敵ノ機銃並に砲撃隊ニ畏縮シテ監視連絡ノ手段ノ怠リハ其の
機降下ノ部隊ニ復攻セシムルガ如キコト斷シテアラハラス

3. 地方住民の難を救降下ノ兵士トシテ其着地ノ瞬間ニ於テは機銃
等準備停止準備シテアラハル如ク指導 尚監視連絡等準備
カセシムルモノトス

4. 夜間空襲部隊ニ攻撃メシ察シタル場合素ハ止ルコトス
5. 警報 迅速

空襲部隊降下シテ發見セシ部隊ハ獨斷機ヲ失ヒスルコト攻撃隊
置シ機銃等準備ガハレ降下ノ部隊ニ機銃等準備停止ヲ命ジテ
6. 村長に對シテ指導

1. 各部隊ノ敵ノ機降下ノ時ニハ直ニ獨斷所屬ノ兵カシ敵機
シ地上に於テホク其能ハ勢盡キテ乘リ込メ圍合的ニ攻撃スル
機銃等準備停止ノ如ク指導スルモノトス

2. 此際準備不完全ト爲ルカハ、機銃等準備停止ノ時間ヲ徒費スル
敵機降下ノ時機ノ逸スルコトヲ防ジテハアラハラス

3. 火力攻撃ノ要領ハ最も迅速ニ所在ノ兵カシ先ノ現地ニ於
テ機銃等以下地ヲニ監視シテ時間ノ難ニ機銃等準備停止ノ要
シテ指導スルモノトス

4. 機銃等以下地ヲニ監視ス

二部署

其一師團本部署

ト搜索隊

約一隊ヲ以テ奥座岳及一三六高地附近に據據意ニ配置スルハ爾餘ハ主力ヲ以テ本團直轄部隊に據據意ニ配置ス

2 工兵隊

秀方約一隊ヲ師團直轄部隊に據據意ニ配置ス

3 輜重隊

兵力約一中隊(百塔載)ヲ師團直轄部隊に據據意ニ配置ス

テ待機セシム

4 后第一線拂團第二線拂團

夫ハ概ネ中隊ヲ以テ拂團隊ニ據據意ニ配置ス

本團本部署

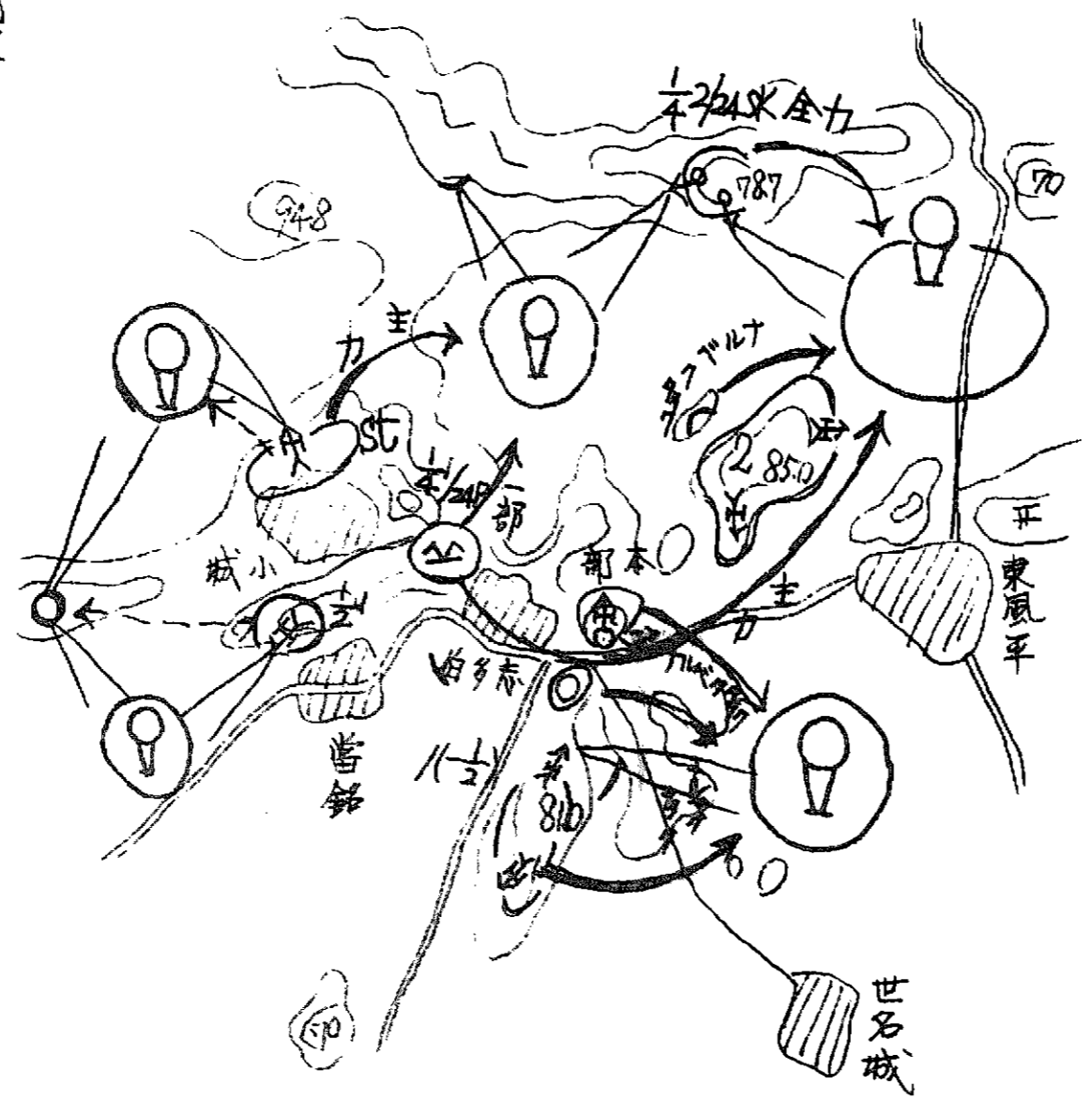
本團本部署

本團本部署

東風平志多伯附対空挺戦闘部署要圖

方針

戦撃隊ハ対空警戒ヲ嚴シ敵降下ヲ発見スルヤ一部以テ據矣ヲ確保シ主力ヲ以テ神速ニ敵降下部隊ニ殺投シ之ヲ捕捉殲滅ス



部署

一、敵四周ニ降下スルヲシテ其ノ主力ハ東風平南北地区ニ降下スルノ公算ナルヲ豫想シ要圖、如ク部署ス

二、其他ノ状況ニ依リ神速ニ部署ヲ変更ス此際各級指揮官ハ独断機ヲ逸セザル如ク射撃ヲ断行スルヲ要スルコト多カルベシ